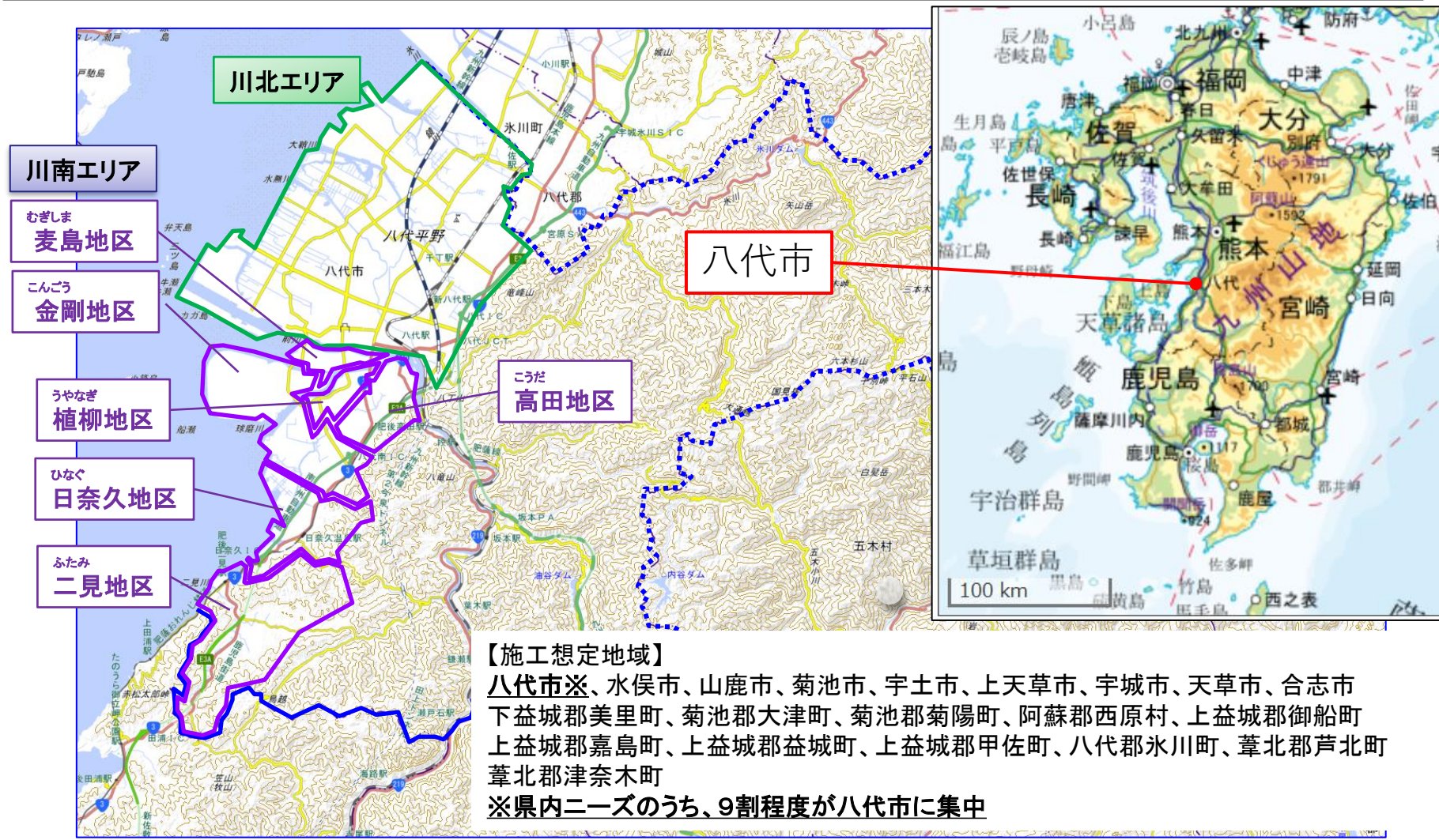


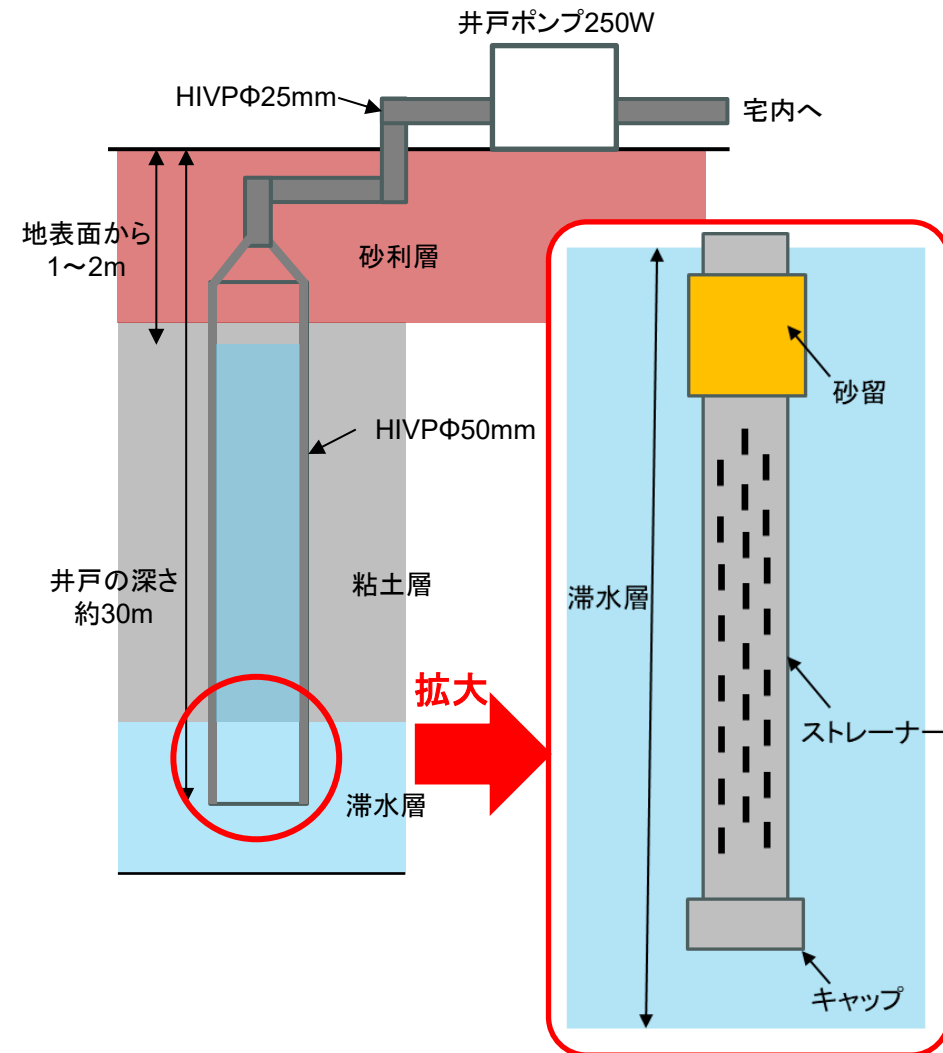
施工位置図(現時点の想定箇所)

- 主に八代市であるが、周辺市町においても被害がある。
- 八代市内で9月6日時点で、支障ありとのニーズは約3,400件。
- 熊本市内から車で約1時間。



八代市の井戸構造の事例

- 八代市における井戸は、掘削深30m程度、硬質ポリ塩化ビニル管(口径50mm)を挿管、ポンプは浅井戸用の消費電力250Wのものを使用するケースが多い。 ※ 地元企業よりヒアリング



▽個人用井戸の設置状況

井戸の口は地面に埋設されていることが多い



▽硬質ポリ塩化ビニル管(口径50mm)



▽井戸の口がわかる例



井戸の修理(堀り直し)作業の事例

- 八代市における井戸掘りの工法はパーカッション工法が主流。
- なお、今回の公募において、工法を指定するものではない。

※ 地元企業よりヒアリング

▽パーカッション工法の実例



れき層や、石などの層に使用するビット



粘土などの層に使用するビット

▽ロータリー・パーカッション工法の実例

硬質ポリ塩化ビニル管(口径100mm)、掘削深28m



▽井戸掘削の主な方法

- パーカッション工法: ビットを地層に叩き付けて、掘削する工法
- ロータリー工法: ビットと呼ばれる刃先を回転させて掘削する工法
- ロータリー・パーカッション工法: 上記を組合わせて掘削する工法

井戸の修理(堀り直し)作業前の確認事項等

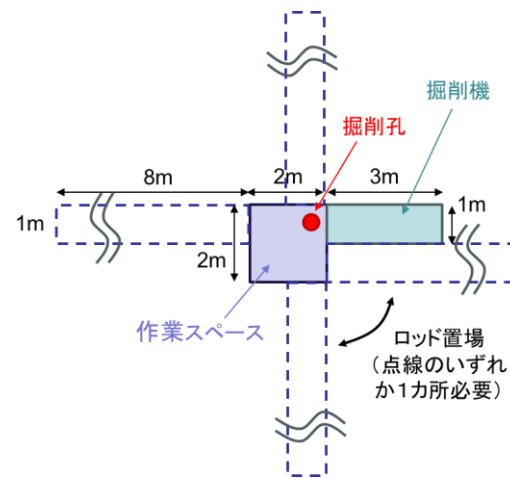
- 各集落内は幅の狭い道路あり。事前の踏査にて施工箇所の工事用車両のアクセス可否の確認が必要。
- 井戸の掘直し箇所については、家の前の駐車スペース等を利用することになると想定。

▽井戸の設置箇所の状況

家を建てる前に井戸を設置するケースが多く、掘り直しには、作業スペースの確保が必要



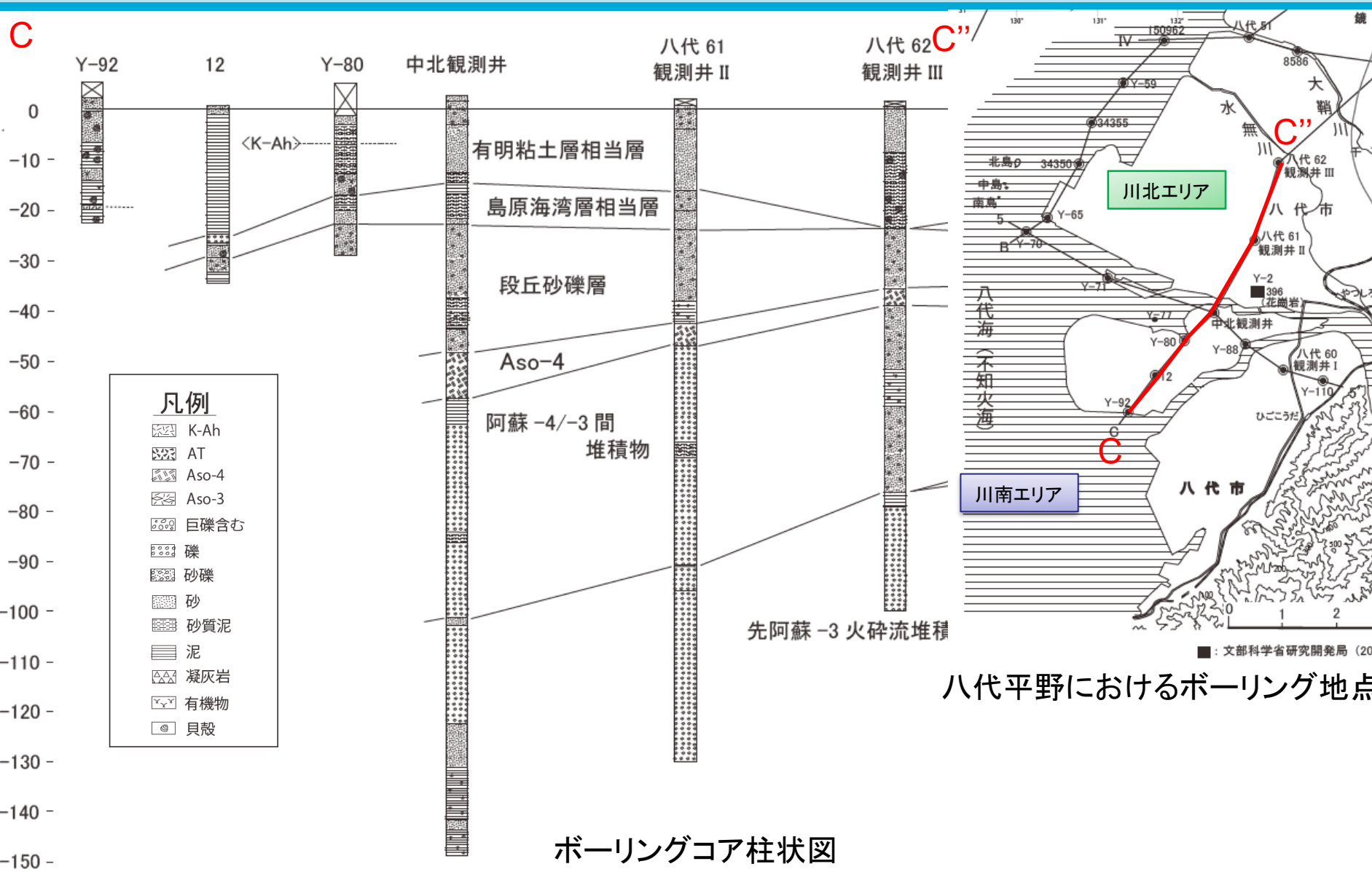
▽井戸掘削に必要な作業スペース例



▽周辺井戸の掘削深の確認

- ☑ 地域によって帯水層が異なるため、施工前に、施主の協力を得て、近隣世帯の井戸の深さ等を2か所以上確認。
- ☑ 確認する際は、可能な限り、図面・実測等により確認。

八代市(八代平野)の地質構造



契約手続きに関する参考情報

契約時の支援等 <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/279821.html>

- これらの復旧に対しては、被災者に対して1世帯あたり最大で 75.7万円の支援があります。
- 県外業者が修理する場合の 掛かり増し経費（移動費・宿泊費等）については、別途修理業者に市町村が直接補助する予定です。

契約手続きフロー

